

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員一人一人が理念をしっかりと把握し実践出来ている。日々の介護やケアでは、優しい気持ちと笑顔が意識せずとも自然に出していると感じている。			スタッフが理念に基づき介護に努める事が出来ており、新人スタッフにも理念に基づく働き方を教えながら、スタッフ一同介護に努めていけるよう、次年度の目標としていく。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染拡大防止のため入居者様を交えた交流は実施できていないが、以前は盆踊り大会や餅つき等の行事に参加させて頂いていた。現在はホーム長対応にて、毎月の町内会の役員会に参加したり、町内会から運営推進会議に参加して頂いたりと、コロナ渦での可能な範囲内ではあるが交流を持続している。	コロナ過で、地域とのつながりが以前のように出来ない状況ですが、運営推進会議に出席していると、外出ができない中でも、ホットプレートでの食事など、盛り付け行い工夫されており、柔軟に対応されていると思う。面会もカーテンで仕切るなど、感染対策を工夫されている。		現在コロナ禍において地域での交流は難しく、参加することが出来ていないが、次年度はコロナの状況にもよるが、可能な範囲内で地域行事に参加・協力できるよう目標としていく。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヵ月おきに開催している。活動状況・入居者様の状態・ヒヤリハットについての報告と話し合いを行い、意見やアドバイスを頂きサービス向上に努めている。コロナ渦にてご家族様の参加はしばらくないが、議事録を郵送し対応している。	運営推進会議内で、きめ細かい報告があり、議事録も作成されており、参加者や職員間の中でも情報が尊重・共有されており、それを反映しているというのが感じられている。会議内の意見も参考にサービス向上に努めている。		運営推進会議をスタッフに共有できており、サービス向上に反映しているとお言葉を頂き、次年度にも引き続き、運営推進会議を活かした取り組みをできるよう、継続と目標としていく。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議やホーム長対応での役場への訪問・市町村担当者との積極的な情報交換を行い、良好な協力関係を築けている。	運営推進会議へ、役場職員の参加があり、又、ヒヤリハットや事故報告は速やかに提出されている。包括会議へ積極的に参加されており、意見や情報共有を行えている。加算関係の事なども、役場と電話やメールでやり取りし、書類を送って頂いたり、本当に良くして頂いている。		市町村との連携は良好な関係作りが出来ていると思われる。次年度の目標として、継続し良好な関係作りを築いていきたいと思う。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束委員会を毎月1回開催し、定期的に職員全員で勉強会を行っている。入居者様個々の状態に添った意思確認や思いを尊重する事を大切にしながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在は身体拘束対象者はおらず、月に1回の身体拘束会議・定期的に勉強会の開催を行っており、身体拘束についてスタッフは理解している。次年度の目標としても、継続し、身体拘束をしないケアを取り組んでいけるよう会議・勉強会を行っていく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止について定期的に勉強会を開催している。意図せず行った事が虐待となってしまってはいないか?等、職員一人一人が常に意識し考えて、日々のケアに努めている。		(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止の勉強会を定期的に行い、スタッフに虐待について確認と予防を促している。次年度の目標として、引き続き現在の対応を行い、虐待のないケアに努めていけるよう虐待予防の徹底をあげていく。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている (B) ほぼできている (C) あまりできていない D. ほとんどできていない	制度の意味合いは個々で大まかに把握できているが、学ぶ機会や話し合う機会が中々持てていない。コロナ終息後には、関係者や有識者を交えた勉強会など開催出来れば…と思っています。			管理者は理解できているが、他スタッフは理解に乏しく、大まかな内容は説明できるが詳しくは把握していないため、次年度の目標として、定期的な勉強会、または資料の提供などを行い、理解できるよう目標に掲げていく

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム長対応にて、入居前に口頭・書面で十分な説明を行い、理解・納得されたうえで契約を交わしている。			入居前に口頭・書面により十分な説明を行い、理解・納得された上で契約をしている。次年度の目標としても、現対応で行っている、ご家族様からの了承・納得を得て、契約していくことを継続していく。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見箱の設置や定期的にアンケートを実施。来所時に直接お話を伺う等で意見・要望を反映させている。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見箱には3ヵ月で1、2通きており、感謝の言葉が多く、苦情などはきいていない。半年に1度意見に関するアンケートを郵送しているが、電話や面会時にスタッフに言葉を掛けてくれる事が多い為、ご家族様の意見は直接聞く事が多い。次年度もアンケートを継続し、ご家族様よりお言葉をいただけるよう対応継続していく、直接話をする中からも、意見を汲み取っていくことを次年度の目標としていく。	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段から気軽に意見を提案できるよう、ユニット毎にノートを設置し、内容によっては全体会議やユニット会議で話し合い、運営に反映させている。遠慮や躊躇する事なく意見を提案出来るような人間関係も築けている。			連絡ノートを活用し意見の提案をし、普段の話の中や、会議からも意見を出してもらい、運営に反映する事が出来ており、提案・発言できる環境も築いている。次年度へは現スタッフだけでなく、新人スタッフにも意見提案できる関係を作りたいけるよう目標に掲げていく。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員個々の意見・希望を取り入れ、業務改善・労働時間の調整等行っている。コロナ感染拡大防止のため制限はあったが、職員一人一人がやりがいと向上心を持って働くよう、施設内外の研修会・勉強会などへ参加出来る体制が整っている。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により施設外研修が難しく行えていないが、施設内研修・勉強会は随時行っている。残業等もなく、常に業務改善に努めている。スタッフのやりがい・向上心を持つためには何が必要かを考えながら、勉強会の内容を考え、コロナ禍により、外部研修ができる場合には積極的に参加促す事を、次年度の目標としていく。	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	学習係を中心に毎月勉強会を行っている。学びたい事・知識や技術の向上に繋がる事はないか、アンケートを配布し要望を反映させている。コロナ感染拡大防止のため施設外研修もあまり開催されなかつたり中止になつたりしたが、参加出来る機会があれば業務日程を調整し数少ないながらも意欲的に参加した。今年度はベトナムからの外国人実習生もあり、全職員で技能・言語等の習得に協力し成長を見守っている。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護資格の取得について、勤務の調整等必要になるが、町の制度を活用していく、スキルUPに務める。現在4名が町の制度を活用している。次年度の目標として、引き続き町の制度を使用できる時には使用し、施設外研修にも積極的な参加を行っていく。	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止のため、交流や勉強会の機会は少ないながらも、可能な範囲での意見交換・情報共有を行いサービスの質の向上に努めている。			包括ケア会議等、同業者との意見交換を行い、訪問診察時等で医師や看護師からもアドバイスをいただき、サービスの質・向上に努める事ができており、次年度の目標としても継続し行っている。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様個々の認知機能・身体機能に見合ったお手伝いをして頂いている。自身に与えられた役割を通して「必要とされている」と生きがいを感じて生活して頂けるよう、日々の会話やコミュニケーションを密にし、一人一人の希望や思いを把握出来るよう努めている。			目標は達成できていると思うが、認知機能・身体機能は日々変化してくるため、目標継続と共に、日々の会話や身体状況から、出来ることを見つけ、暮らしを共にする為に、その時にあった動きができるよう、観察。考察していく。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止のため、外出や面会も厳しい時期もあったが、最近では感染予防対策をしっかりと行った上で玄関先での数分の面会が可能となった。入居者様希望による美容院でのカラーリング・誕生日には職員運転の車で数年ぶりに自宅までヘドラライブする等、ご家族様の協力を得ながら馴染みの関係が崩れないよう支援している。	ドライブでご自宅へ訪問し、ここまでしてくれると思わなかったとご家族からお言葉頂いている。個別ケアが寄り添ってできていると思われる。コロナの状況を見極めながら、状況に合わせ、対応を工夫している。コロナの状況により、面会場所を作り、関係作りができていると思われる。		コロナにより馴染みの人や場所との交流は難しくなっているが工夫し対応している。日々変わるコロナ情勢だが、その時の状況で交流をはかれるよう、次年度の目標にしていく。

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の馴染みのある生活スタイルや趣味・好きなもの等は日々の会話やコミュニケーションを通して把握し、出来る限り本人の望む生活を提供出来るよう努めている。意思疎通が困難な方については、普段の関わりの中から本人の意向をくみ取り支援している。			一人ひとりの希望や意向にそってケアを提供できていると思うが、認知面やADLによって常に変わてくるため、ケアの継続と日々の様子から、変化を汲み取れるよう目標としていく。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画は半年ごとに見直し、モニタリングは3ヶ月ごとに行っている。担当職員は入居者様の日々の様子を的確に記載し、計画作成の際は本人の意向はもとより、ご家族様の要望も反映させている。食事形態や排泄対応等、その時の入居様の状態に合わせた介護計画を作成している。	長期目標・短期目標について利用者の希望や心身の状況に合わせて作成されており、個々の利用者の状態像をきちんと把握出来ており、介護計画をもとのケアされている。担当職員の気づきと、本人・ご家族様の要望を融合させることが重要。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画を半年に一度見直し、モニタリングは3ヶ月毎に行っている。更新時は担当はもとより、ご家族からの要望も取り入れ作成しており、必要に応じ都度変更している。目標達成となるが、今後も常に変わる状態から、介護計画の見直しが必要なため、次年度の目標としても一人一人に合ったサービスを組み入れるよう支援を行う。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間対応で毎日の状況や行動履歴を個人ごとに記録している。言動も本人が話したありのままの言葉を記載したりと、その時の様子が目に浮かぶような工夫も行っている。常に全職員間で情報を共有出来る体制が整っており、支援の実践や介護計画の見直しに反映させている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	充分に出来ている。引き続き対応継続し、引き続き次年度の目標としていく。新人スタッフの加入により、状態は変わっていくため、管理者はもとより、スタッフからの指導もを行い、記録からの実践を行っていく。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の状態や状況に応じて、可能な限り希望が叶えられたり、不安や問題が解決出来るよう、支援・サービスの向上に努めている。	認知症で希望も訴えもない利用者に対してても、チームカンファレンス等で、活発な意見を出し合い、見立てを立ててケアされており、モニタリングや運営推進会議などで確認することができている。		柔軟な対応をしているが、既存のサービスに沿って考えてしまっている。既存のサービスに捉われず多機能化に取り組む必要があり、次年度の目標として、柔軟な対応ができるよう、既存のサービスをしっかりと理解し、そこから派生するサービス向上を目指していく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止のため、以前のように町内会や地域振興のイベントには参加出来ていない。環境が次第に整い、開催されるようになった時は、一人でも多くの入居者様が参加出来るよう支援したい。	コロナ過でのリスクのバランスを常に考えており、リスクマネジメントがしっかりと行えている。コロナ過だから出来ないでは無く、利用者を常に1番に考えているので、段階を踏んで、徐々に解除したり、違う方法で対応する事が出来ている。		コロナ過での制限により地域との協働は出来ていない。コロナ情勢に左右されるが、地域資源との協働ができるよう次年度の目標にしていく。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	遠藤内科医院・えとう森町クリニックが協力医療機関となっており、担当医師にはほぼ毎日のように来所して頂いている。24時間対応となっているため医師へすぐに連絡を取れる状態になっており、緊急時にも連携を取り対応している。病状により専門医療機関での診療が必要な場合は、ご家族様に付き添いをお願いし協力して頂く事もある。			2つの協力医療機関とも、入居者様への24時間の対応が可能となっている。本人・ご家族様も医師の選択ができ、より希望にそった介護が提供できている。現在の対応を継続し、次年度の目標として引き継いでいく。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム長を中心に、病院の医師・看護師・ケースワーカー等のスタッフとの連絡を密にし、信頼関係を構築しており入居者様の現在の状態を互いに把握している。入居者様に何かあった場合でもすぐに対応して頂けるよう、日頃から些細なことで話し合いが出来る関係性を継続していくように努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病状により、医療が必要な場合でも協力医療機関の協力により、施設内で治療する事が可能であり、入院が必要な場合も協力医療機関はもとより、他施設との連絡も密に行っており、スムーズな入退院ができている。次年度の目標として、引き続き対応継続していく。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関の遠藤内科医院・えとう森町クリニックの協力により、看取り介護を実施している。入所時や状態変化時にホーム長よりご家族様へ施設で行える対応の説明と、医師からは現在の状態・今後の方向性について説明を行っている。看取り開始となった際には、医師への報告・連絡・相談を密にし、全職員で支援に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様、または本人の希望により看取り介護を行っている。急変ではない限は、スタッフが普段の様子から、医師へ都度報告し、早期の看取り対応ができる。看取り開始時期も入居者様の状態により、様々であり、個々にあった終末期を迎える事ができ、ご家族様からも看取り中話を聞き、その方にあった看取り対応を常に話し合っている。目標としては達成しており、次年度への目標として、継続し良い対応をしていく。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に勉強会・研修を行い、急変時の対応に備えている。実際に対応する時に焦りや困惑してしまう事を考慮し、マニュアルの作成・緊急連絡先や対応の方法などを事務所に掲示し、いざという時に備えている。			研修やマニュアル作成等行い、急変時に備えている。実際に急変対応したことがある職員が少なく、急変の種類も一つではないため、突発的にすぐ対応できるかは難しい。しかし、いざという時の対応が少しでもできるよう、次年度も引き続き目標として上げ、対応していくようにする。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回、所轄の消防署・設備会社と連携し避難訓練を行っている。災害時の対応マニュアルの作成・非常食のストック管理等、緊急時にスムーズに対応できるような体制を整えている。	避難訓練もマンネリ化せず、毎回出火場所も違ひ、職員も真剣に行っている。又、訓練の日を言わす、実施するというアイデアも満載で、毎回新鮮な感じで訓練を実施することが出来ている。地域の方(町内会等)も参加出来る工夫が必要。今後は風水害等の訓練も実施出来ると良いと思われる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災時の避難訓練は高評価をいたいたが、問題点として、避難は火災だけではなく、風水害等もあるため、今後の避難訓練では、自然災害対応の避難訓練を実施できればと言葉をいただく。次年度の目標として、火災だけでなく、自然災害の訓練もできるよう調整、研修会の開催をする。
III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のコミュニケーションから一人一人の性格や個性を見出し、その人らしさを失う事なく生き生きと過ごせるよう、職員間で常に話し合いを重ねている。マイナスと受け取れる行動・言動に対しても、尊厳とプライバシーを損ねる事がないよう、対応に工夫している。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の生活や過去の生活歴から、個々の性格を読み取り、スタッフ同士話し合いで、個々にあった言葉がけの仕方を中心に心掛けている。認知症により、不穏な言動になることもあるが、尊重し対応することにより、緩和できる対応を行っており、次年度の目標として継続するとともに、新人スタッフには難しいことなので、しっかりと指導を心掛けていくことを目標とする。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り希望に沿った支援を行っているが、自室にこもりきりになったり健康や衛生面に問題がある際には、声掛けに工夫をし職員から提案をしている。意思疎通が難しい入居者様については少しでも希望に沿えるよう、問い合わせにYES/NOで単純に答えられるような対応を工夫し支援している。			認知症により、意思疎通が難しい場合があり、簡潔な質問にするなど工夫している。年に2回、認知症についての勉強会を行い、専門職として振り返り・学習している。次年度の目標として更に認知症の専門職として、知識を増やし、希望にそったケアの提供をする。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状態に合わせ、食器を軽量化したり食事形態を変更したりと、自身の力で食事を楽しんで撮れるように努めている。また、食後の食器の後片付けも職員と協力しながら行っている。毎月の「おやつフレク」ではメニューに趣向を凝らし、材料の下準備等と一緒に使うことで楽しみが倍増するよう支援している。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おやつフレクや、食器洗い等の手伝いを行って頂いている。それぞれの能力に合わせ、全員が出来る限り参加できるよう、工程によって参加する方を分ける工夫を行っている。しかしどれにも参加できない方もいるので、次年度の目標として、工程を工夫し、スタッフと共にを行うなど、全員参加できるようケアする目標を上げていく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食時の摂取量を記録し職員間で共有している。摂取時の状態観察も行い、個々の状態に合わせて無理なく適切な量や栄養バランスが維持できるよう、臨機応変に対応している。体重減少等の問題がある際にはすぐに医師へ相談し、栄養補助飲料を処方してもらう等、指示を頂いている。			表を使用し、個々の摂取量などを把握し、月1回の体重測定からも、増減を把握し、ごはん量やBMIから増減のあるときには早期で医師へ相談している。継続できるよう次年度の目標としていく。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、一人一人に声掛けし口腔内の清潔保持に努めている。見守りや一部介助にて洗浄・清拭を行ったりと、個々の口腔状態や能力に合わせた対応を行っている。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアに努めており、ご自分で行える限りは行って頂いているが、残渣物が残っている方には、仕上げをスタッフがやるなど、できる限り自分で行って頂き、歯科訪問も定期的に行って頂き、誤嚥性肺炎の軽減になっている。次年度の目標として継続した対応をしていく。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄表を活用し個々の排泄間隔を把握することで、適時なトイレ誘導や声掛けを行っている。また、夜間はオムツ使用だが、日中は布パンツやリハビリパンツへ変更し自発的にトイレで排泄が出来るよう支援している。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄表を使用し、排泄パターンの把握、便秘時には薬での調整をしている。コスト面からも、使用オムツ類の見直しをし、その方にあったオムツを使用している。状態により、トイレでの排泄が難しくなっても、出来る限りスタッフの介助でトイレ誘導をして、最後までトイレでの排泄を考慮しているため、次年度の目標について、現在の対応を継続し行っていく。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまはずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の個々の状況に応じて、職員間で話し合いながら入浴の順番を考慮している。体調面や気の合う方同士の入浴に配慮し、拒否された場合は時間をおき再度声掛けしてみる等、対応している。入浴中は世間話や他愛もない会話をしてコミュニケーションを計り、楽しんで入浴出来るよう支援している。			勤務上、曜日と入浴時間は決められているが、その中でも、最初の方や最後の方・他者との関係性にも考慮しており、継続したケアを提供できるよう、次年度の目標として継続し、ケアの提供と、都度話し合いし、個々にあったケア方法を考えていき提供するとしていく。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間はゆっくりと休息して頂けるよう、不安・不満時には安心できるまでじっくりと傾聴対応する事を大切にしている。日中、傾眠が強い方には居室で休息をとって頂いたり、体調を気遣い定期的に休養時間を設けたりと対応している。			入居者様の状態により、休息の時間などを設けている。自分で休息する方、体調によりスタッフ判断で休息をしてもらう方など、臨機応変な判断ができるおり、次年度の目標としても入居者様によっての休息の対応していく。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全ての薬を把握することは難しいため、薬情をすぐに見れる場所に配置しており、薬の変更時には連絡ノートを用いて、スタッフに報告している。改善・悪化時にも連絡ノートを活用しスタッフ間での情報共有から医師へ相談の流れを作り、対応している。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		薬情ファイルを作成しており、すぐに確認できるようしている。処方変更時にも、連絡ファイルに記入し、スタッフへ共有した情報の提供に努めることができている。緊急時にはすぐに医師へ連絡がつくため、24時間対応が可能となっており、次年度へも同様の対応ができることを目標にあげていく。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状態に合わせた楽しみを提供しているが、認知やADL低下により、日々変わってきている。入居者様に満足してもらえる支援を提供できているかは不明だが、楽しんでもらおうという気持ちでスタッフは支援をしている。	フロア一内に皆で作成する木や写真などから、行事の企画や、室内的模様替え等、工夫している様子が伺える。季節ごとに利用者も四季の移り変わりを感じる事が出来ており、五感に刺激を与え、心身ともに活性化へ繋げることが出来ている状況。		行事の企画、飾り等、入居者様の五感に刺激を与える事ができている。心身の活性化へ繋げていけている状況を提供できているとお言葉を頂き、次年度の目標として、継続した対応を行い、入居者様の五感を刺激したケアを努めていく。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス影響下のため、外出頻度は減少。ご家族様への電話連絡や情勢を見ながら玄関先でビニールカーテン越しの面会は継続し、感染防止に最大限配慮した上で入所者様の希望実現の支援を実施している。	今年もコロナ情勢に考慮し、定期的に庭先での行事活動も行えており、利用者のリフレッシュに繋がっている。		コロナ過により、外出が出来ない状況。少しでも外出が出来るよう、行事を工夫し、施設周りの屋外で行事を行っている。コロナ次第となってしまうが、次年度は外出ができない状況であっても、リフレッシュができるよう屋外での企画を目標としていく。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大半の入居者様は、事務所にて金銭管理しているが、希望や認知症の症状により、個人でお金の管理ができる方にはご家族様了承の下、個人で所持して頂いている。施設前の自販機で買いたい時にジュース購入する支援を行っている。			自己管理能力を見極め、個人で所持できる方には、できる限り所持して頂いている。できない方に関しても、事務所で管理し、訴えや促しにより定期的に、施設前の自販機でジュース購入等しており、次年度も継続した対応ができるようにしていく。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族から電話があった場合や本人から電話をしたいという時には繋げて、声を聴いて会話できるように支援している。毎月の広報に個人がわかるように写真をのせ、日々の様子を家族へ報告しています。			月に1回の広報。状態の変化時などに家族への連絡。家族からの電話時にも最近の入居者様の経過・状態報告等している。次年度へも対応継続するとともに、スタッフが統一した対応ができるよう、連絡ノートでの情報の共有も目標としていく。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホール・廊下には季節ごとに飾り付けを行い、四季を感じて頂き、入居者様によってホール自席に花や装飾品を置くなど居心地の良い空間を提供している。しかし、入居者様によって装飾によって不穏となる事もあるため、都度、判断して装飾の有無を考えている。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		ホールや廊下は季節ごとの飾りつけを行い、ホール自席前は本人の好きな物を飾る等、共有の空間を居心地よいものにするよう工夫している。現在の対応を継続し行えるよう、入居者様の意見を聞き、常に変えていくように、次年度の目標としていく。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意思表示が出来る方に関しては、訴えを実行して意向に沿った暮らしができるていると思われる。意思表示が出来ない、又は無い方に関しては、提供できていないと思う。スタッフの考えになってしまふが、本人の意思を汲み取って提供することが今後の目標となる。	意思表示ができる方に関しては実行出来ているが、意思表示が出来ない方に関しては、スタッフの考え方で行い、本当に本人の意思に沿っているかは不明であり、次年度の目標として、意思表示できない方の意思の汲み取りを、スタッフ本意にならないよう目標にしていく。	
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時のアセスメントにより、ケアプランを作成し、個々によってケア内容を変えている。テーブル席等も普段の様子などから、人間関係良好になるよう位置の変更を都度行い、本人に合った交友関係で生活できるよう、日々スタッフ間で情報共有し、実施している。	入所時のアセスメントからケアプランの作成を行っている。施設生活の中で日々変わってくるため、情報の共有をし本人にあったケアを提供しており、次年度の目標として、継続し行うとともに、日々の生活の中から定期的に変更していく。	
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関の医師が、ほぼ毎日訪問して下さるため、小さな変化も都度報告して、早期の対応・医療を提供することができている。日々の状態をスタッフ観察しているため、支援内容の変更も早期に行えている。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 協力医療機関がスタッフの小さな疑問や、入居者様からの意見にも親身になって対応して下さり、早期の医療提供が可能となっている。早期に対応できることから、支援内容も早期に変更し、ケアへと繋げる事が出来ており、次年度の目標として引き続き行っていく。	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出は難しいが、散歩や花の水やりなど、これまでの生活習慣を施設内で継続し行う事ができている。ADLや認知の低下により出来ないことが増えてきているが、都度、工夫し提供し無理強いはしないよう、本人のやる気を優先し行っていただいている。	生活歴や本人との会話から自分のペース(その人らしさ)での提供がされている。しかし、施設生活の中でないので、制限がかかることが多く、スタッフ間で話し合いし、できる限りの提供を目指し次年度の目標としてあげていく。	
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時には本人が使用していた物などを持参して頂き、持つことができている。面会時や本人の訴えによっても、欲しいものがあれば家族に依頼するなど、都度、対応し自室や身近に置き、使用できるようにしている。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 入所時には、馴染みの物を持ってきていただき、少しでも部屋を、自分の部屋だと思って頂けるようにしている。都度、訴えにより、ご家族へ依頼するなどしている。次年度の目標としても同様に対応継続し、入居者様の馴染みの物を身近におけるようにしていく。	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、外出は難しく、中々希望には添う事はできない。施設内で行事を行い、祭事を提供している。今後、新型コロナウイルスの終息次第で外出の機会を作っていくけるように計画していかないと考えている。	室内行事も積極的に行っており、今後も室内行事を継続しつつ、コロナの情勢をみて、以前のように全ては出来ないが、段階を踏んで行う事ができている。段階として、室内行事、庭先での行事、ドライブ、短時間の降車ドライブ、外出イベントなど実施。	コロナ禍により、以前のような外出の機会は提供できていないが、コロナ情勢により、段階を踏んだ行事の提供を行い、施設生活へ刺激を与えていく事を次年度の目標としてあげていく。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物畳みなど、個々の能力によって、タオルや靴下、衣類などと、畳むものを変えて出来る範囲で行って頂いている。レクなどでも、工程によって手伝って頂く入居者様を変える等、みんなで作業できるよう工夫し行うことを探している。		個々の能力により、手伝いや計作業の振り分けを行い、一人一人に合った作業を提供できている。今後も継続した対応を行い、次年度の目標としてあげていく。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホール席は日々の生活を観察していく中で、相性の合う相手との席を近くするなどと会話の場を工夫し提供している。スタッフも介入するなどし、会話を引き出し、生き生きした生活が提供できているとは思うが、同じ場所にずっといる事が多いため、今後の課題と考えていきたい。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホール席等、人間関係を考慮して会話ができる場を提供。スタッフは入居者様と会話をし、不満などがないか、何気ない日常会話ができるよう努めており、次年度の目標として、継続した対応ができるようにしていく。

48	本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止により、地域との交流ができなくなってしまった。今後新型コロナウイルス終息の状況によって、町内会等との連携を行い、地域との交流を提供して行きたい。	地域の人々と関わりがある利用者もあり、面会や運営推進会議の町内の参加者から声をかけてもらったりする中で、回想することが出来ている。	コロナ過により、地域との交流は難しいが、運営推進会議や面会等から、町内との関りを持つ事ができている。地域との交流を次年度の目標としてあげていき、コロナ情勢により、臨機応変な対応ができることも、目標としていく。
49 総合	本人は、このGHIにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様からは満足した感想が多く聞かれているが、時折、不満も聞かれているため、都度、考え方解決できるよう取り組んでいる。認知症の進行により、会話が難しい入居者様に関しては、表情から読み取り、満足して頂けているのではないかと考えています。しかし、更により良い日々を送って頂くためにも、今後も、工夫し提供していくよう努めていきたい。	職員の人柄も穏やかで、地域の方々より頼りにされており、コロナ過ではあるが、町内会への地域活動も積極的に行って。管理職と職員との関係も良好であり、働きやすい環境がでており、外国人実習生の受け入れを積極的に行い、人材不足も最小限にとどめる事が出来ている。引き続き、利用者第一に考えていけば、利用者の方々も心豊かに、日々を過ごすことが出来ると思います。	アンケートや普段の会話の中から、ご家族からも不満の言葉はなく、入居者様からも笑顔が多く見られている。良くも悪くも、管理者、スタッフ間の隔てがなく、意見の交換が出来ている。入居者様の生活をより良いものにするためにも、スタッフの精神面や業務面を考慮して、ケアに全力を注ぎこめる環境づくりを、次年度の目標としてあげ、そのためにも、入居者様の情報共有、専門職としての知識の向上をはかっていく。